

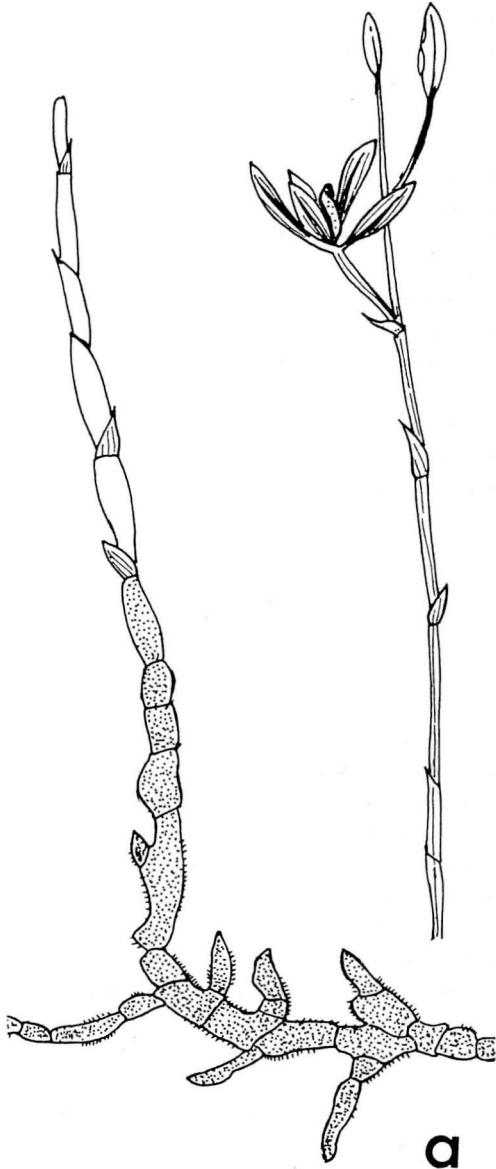
# FLORA KANAGAWA

Apr. 30 1981

神奈川県植物誌調査会ニュース 第6号

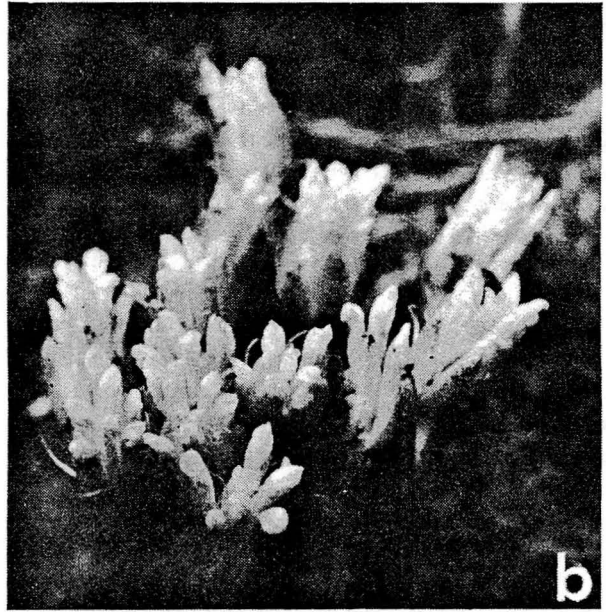
231 横浜市中区南仲通り5-60 神奈川県立博物館内  
神奈川県植物誌調査会(振替口座 横浜 10195)  
TEL 045-201-0926

No. 6



a マヤラン

b キョズミウツボ



## 秦野の植物二話

秋山 守

～マヤランとキョズミウツボ～

マヤランとキョズミウツボは分布的には広い種である。しかし、腐生植物、寄生植物であるためどこにでもざらにあるものではない。花期以外には地上茎を生じないため、偶然発見される場合が多い。最近、秦野市内で両種を採集したので報告し、今後会員兄弟の活躍により各地区での分布が明白になることを期待したい。

マヤラン(図A)

*Cymbidium nipponicum*(Fr. et Sav.) Makino  
1980年7月13日、秦野市三廻部のクスギ林中で採集。マヤランはラン科のシュンラン属の1種で、常緑林や二次林の腐植土の多い林床に生える腐生の無葉ランである。地下茎は長く横にはい、細毛がある。花茎は直立し高さ10~25cm位、その頂きに2~数個の花をまばらにつける。花卉、萼ともに緑白色で中央部に細長く、淡紅色のやゝ幅広いすじがはいっている個体が多かった。

分布：県内で今までに発見された場所

横浜(岩崎)、三浦、鎌倉、海老名、大磯(高取山) 秦野(三廻部)、小田原、真鶴岬、南足柄(大雄山)

松田(寄)

県外での記録

東京都(高尾山, 三宅島, 八丈島), 千葉県(千葉, 柏, 八街, 大東岬, 茂原, 山武, 館山, 内消山), 静岡県(伊豆, 遠州相草), 愛知県(岡崎, 豊田), 兵庫県(摩耶山), 愛媛県(明浜), 高知県(東洋, 物部, 横倉山), 長崎県(壱岐, 対島), 鹿児島県(坊今岳, 辺塚, 佐多, 種子島, 屋久島)

キヨズミウツボ(写真B)

*Phacellanthus tubilorus* Sieb. et Zucc.

1978年6月, 秦野市西田原の杉林中にて採集。植物体は白色または淡黄色の寄生植物である。西田原産はタマアジサイに寄生し, やゝ群生していた。全体に毛がなく高さ3~15cm, 茎には多肉質の楕円形をした鱗片葉が密生し, その頂きに細長い筒形の花が8個内外集って総状花序をつくっている。花冠は長さ3cm前後の唇形で上唇がやゝ幅広く立ち, 下唇が3裂して短かい。4本の雄しべと1本の雌しべがある。なお, 長さ1cm位の糸状の萼片が2片ある。

分布: 県内で今までに発見された場所

丹沢山, 秦野(西田原), 南足柄(大雄山), 松田(寄)

今までに記録された県

北海道, 青森, 岩手, 宮城, 山形, 福島, 栃木, 茨城, 埼玉, 千葉, 東京, 神奈川, 山梨, 長野, 静岡, 福井, 三重, 奈良, 和歌山, 京都, 山口, 愛媛, 高知, 大分, 福岡, 宮崎, 熊本, 鹿児島。

(県央地区担当)

### 湘南ブロック植物合同調査の記録

湘南ブロック植物合同調査は1980年10月19日(日)に大秦野駅に集合し, 大秦野駅~震生湖間と震生湖付近で行った。

当日は生憎の雨天との天気予報にたたられてか, 参加者は湘南地区及び近隣の人15名であったが, 遠路参加していただいた高橋秀男先生のご指導で, あらかじめ下見をしてくださった浜口哲一氏の道案内で, 本県では稀少価値の高い水生シダデンジソウの大群生や, 帰化植物のハリビユ, これも稀少となったミシマサイコなどの貴重な植物の観察をすることができた。

心配した天候も薄日のもれる時もあった程のまざまざの観察により, 帰りのバス停ではじめて雨にあってだけで多大な収穫をあげることができた。

当日観察された植物リスト

羊歯植物

トクサ科——イヌスギナ。

カニクサ科——カニクサ。

イノモトソウ科——タチソノブ, イヌシダ, ワラビ。

オンシダ科——オクマワラビ, ヒメワラビ, ホシダ, シケシダ, イヌワラビ, ヒメシダ, ゲシゲシダ。

チャセンシダ科——トラノオシダ。

デンジソウ科——デンジソウ。

双子葉植物〔離弁花類〕

ヤナギ科——シバヤナギ。

クルミ科——オニグルミ。

カバノキ科——ヤマハンノキ。

ブナ科——クヌギ, コナラ。

ニレ科——エノキ。

イラクサ科——ヤブマオ, コアカソ, アオミズ。

タデ科——イヌタデ, ミズヒキ, ハナタデ, イシミカワ, ミゾソバ。

ヒユ科——ハリビユ, イヌビユ, ホソアオゲイトウ。

ツルナ科——ザクロソウ。

スベリヒユ科——スベリヒユ。

ナデシコ科——フシグロ。

キンボウグ科——アキカラマツ, センニンソウ。

ツヅラフジ科——カミエビ。

クスノキ科——ダンコウバイ。

アブラナ科——オランダガラシ。

ユキノシタ科——マルバウツギ, ウツギ, アカシヨウマ。

バラ科——テリハノイバラ, キジムシロ, コゴメウツギ, モミジイチゴ, ワレモコウ。

マメ科——トキリマメ, マルバハギ, ヤブマメ, スズビトハギ, フジカンゾウ, キハギ, ホドイモ。

ミカン科——イヌザンショウ。

トウダイグサ科——オオニシキソウ, エノキグサ。

ウルシ科——ウルシ, ヌルデ。

ニシキギ科——ツルウメモドキ。

ツリフネソウ科——ツリフネソウ。

クロウメモドキ科——ケンボナシ。

ブドウ科——エビヅル, ノブドウ。

アオイ科——イチビ。

ミソハギ科——ホンバヒメミソハギ。

セリ科——セントウソウ, ミシマサイコ。

〔合弁花類〕

リンドウ科——リンドウ。

クマツヅラ科——クサギ。

シソ科——イヌコウジュ, ヤマハッカ, ヒメジソ, ナギナタコウジュ, ホトケノザ, エゴマ。

ナス科——イヌホウズキ, ヨウシュチョウセンアサガオ, センナリホウズキ。

ゴマノハグサ科——コシオガマ。

キツネノマゴ科——キツネノマゴ。

スイカズラ科——ニワトコ, ガマズミ。

オミナエシ科——オトコエシ。

ウリ科——カラスウリ。

キキョウ科——アゼムシロ, ツリガネニンジン。

キク科——リュウノウギク, オトコヨモギ, コウゾリナ, セイタカアワダチソウ, ダンドボロギク, ベニバナボロギク, トキンソウ, チチコグサモドキ, オナモミ, コセンダングサ, コメナモミ, タカサブドウ, オニノグシ, ハルノノグシ, ハキダメギク, オオアレチノギク, ヤクシソウ, アキノキリンソウ, ノコンギク, メナモミ, タイアザミ, ヤマシロギク。

単子葉植物

イネ科——サヤヌカグサ, アキメヒシバ, メヒシバ, ヨシ, ササガヤ, コブナグサ, アンボソ, アブラススキ, オオアブラススキ, ヒメアブラススキ, ヌカキビ,

ネズミノオ、チカラシバ、ヤマカモジグサ、メガルガヤ、メリケンカルカヤ。

カヤツリグサ科——ヒデリコ、カワラスガナ、アゼガヤツリ、ヒメクグ、コゴメガヤツリ、カヤツリグサ。

サトイモ科——セキショウ。

ユリ科——ヤブラン、サルトリイバラ。(守矢 淳一)

### 湘南ブロック 茅ヶ崎市

斉木操、斉藤益子、樋口五百枝、三輪徳子の諸姉の御努力により当地区内に新しく生育が判明した植物は次の通りである。

オシダ科——ドウリョウイノデ、ミウライノデ、オオタニイノデ、ヤマヤブソテツ、アイノコクマワラビ、ミサキカグマ、ヤワラシダ、ミドリヒメワラビ、ヤマイヌワラビ。ユリ科——コバノギボウシ。ヤナギ科——アカメヤナギ。アカザ科——ゴウシュウアリタソウ。バラ科——オニクロイチゴ、ヤマザクラ×オオシマザクラ。ツバキ科——ハマヒサカキ。グミ科——アキグミ、マルバグミ、グミ。セリ科——ハナウド? キク科——トウカイタンポポ、カワラノギク、ヒロハホウキギク。

これらの同定は主として守矢淳一先生に御願いした。

(小原 敬)

### 湘南ブロック 仮リスト作成

2年間の調査を終え、湘南ブロックでは各メッシュで記録された植物の一覧表を作成することにしました。今回は平地、低山地の植物にしぼり、藤沢、茅ヶ崎、平塚などで既に作られている目録も参考に約1200種をリストアップし、各メッシュごとに記録をマークしてみました。湘南ブロックでは全22メッシュの内、約3分の2で順調に調査が進んでいますが、少なくともどこかのメッシュで記録された種類は約1020種となりました。しかし、仮に1200種のうち8割が各メッシュにあると考えると最終的には約2万点の標本が作成されるはずですが、その作成率はまだ3割強にすぎません。さらに山地の植物もあるので、まだまだ前途遠慮の思いを深くしています。仮リストをワンステップに、今年もみんなで頑張っていくつもりです。

なお、このリストは平塚市博物館で印刷し(B5版44ページ)、希望者には郵送料実費でお分けします。切手240円分を同封のうえ下記までお申しこみください。〒254 平塚市浅間町12-41 平塚市博物館 浜口 あて

(文責 浜口哲一)

### 三浦地区植物合同調査の記録

小浜——毘沙門 1980. 11. 9

羊歯植物

イノモトソウ科——ホラシノブ。

オシダ科——アスカイノデ、ミゾシダ、オニヤブソテツ、イノデ。

シシガンラ科——コモチシダ。

双子葉植物〔雑弁花類〕

コショウ科——フウトウカズラ。

ドクダミ科——ハンゲショウ。

カバノキ科——シデノキ、オオバヤシヤブシ。

クワ科——アサ、イヌビワ。

イラクサ科——ラセイタソウ。

タデ科——オオミチヤナギ、ミチヤナギ、アキノミチヤナギ、シロバナイヌタデ、サクラタデ。

アカザ科——ホソバナハマアカザ、ハママツナ。

ツルナ科——ツルナ。

ナデシコ科——ハマツメクサ、カワラナデシコ。

キンボウグ科——センニンソウ、ヒメウズ。

アケビ科——ミツバアケビ。

クスノキ科——タブノキ、シロダモ。

アブラナ科——ハマダイコン。

ベンケイソウ科——タイトゴメ。

ユキノシタ科——マルバウツギ。

トベラ科——トベラ。

バラ科——カジイチゴ、ジャリンバイ、テリハノイバラ。

マメ科——ミヤコグサ、ハマナタマメ、タンキリマメ、ヒロハクサフジ(ハマクサフジ)、シナガワハギ、ハマエンドウ、ニシキミヤコグサ、ナンテンハギ。

カタバミ科——カタバミ。

フクロソウ科——ウスイロゲンノショウコ。

ミカン科——カラスザンショウ。

トウダイグサ科——イワタイゲキ。

ニシキギ科——カイガンマサキ。マユミ、ツルウメモドキ。

ブドウ科——エビヅル、ノブドウ。

アオイ科——フユアオイ。

ツバキ科——ヒサカキ、ヤブツバキ。

キブシ科——ハチジョウキブシ。

グミ科——マルバグミ。

アカバナ科——アレチマツヨイグサ、コマツヨイグサ、ミズキンバイ。

ウコギ科——ヤンデ。

セリ科——アシタバ、ハマボウフウ、ミシマサイコ、ツボクサ、ボタンボウフウ。

〔合弁花類〕

サクラソウ科——ハマボス。

モクセイ科——オカイボタ、イボタノキ。

リンドウ科——ツルリンドウ、リンドウ。

ヒルガオ科——グンバイヒルガオ、アメリカネナシカズラ、ハマヒルガオ。

ムラサキ科——スナビキソウ。

クマツヅラ科——イワダレソウ、ムラサキシキブ。

シソ科——メハジキ、ヤマハッカ、コバノタツナミ。

ナス科——タコ、ヒョドリジョウゴ。

ハマウツボ科——ナンバンギセル。

オオバコ科——トウオオバコ。

アカネ科——ヘクソカズラ、ハマサオトメカズラ。

スイカズラ科——スイカズラ。

ウリ科——キカラスウリ、カラスウリ。

キキョウ科——ツリガネニンジン。

キク科——ワダン、ツワブキ、イソギク、ハナイソ

ギク、キバナイソギク、ジシバリ、アキノキリンソウ、イガアザミ、センダングサ、リュウノウギク、ヤクシソウ、ハチジョウナ、ネコノシタ、ハマコンギク、オナモミ、チチコグサモドキ、ノコギリソウ、イガオナモミ、オオオナモミ、ハマコウゾリナ、ハマアザミ。

#### 単子葉植物

ガマ科——コガマ。

イネ科——ハチジョウススキ、ヤマカモジグサ、ヨシ、ケカモノハンシ、ジュズダマ、オギ。

カヤツリグサ科——ヒゲスゲ、クサスゲ、ヒトモトススキ、シオクダ。

ユリ科——イズアサツキ、クサスギカズラ、ハマカンゾウ、ツルゴ。

ヒガンバナ科——ハマユウ。

カンナ科——ダンドク。

(石渡 治一)

### 横浜北・川崎ブロック

去る9月22日鶴見高校で各地区担当者が集まり、標本整理と採集リスト作りが行なわれた。その結果、930種、2700枚の標本が集まった。特に目立ったものはないが、横浜・川崎で比較的珍しい植物には次のようなものがあつた。

ミズニラ、ヤシヤセンマイ、ミヤマシケンダ、オンダ、イワヘゴ、タニヘゴ、イノデモドキ、ツヤナシノデ、クジャクシダ、クサソテツ、キヨタキンダ、イワガネセンマイ、ハネガヤ、キダチノネズミガヤ、イヌアワ、オオアブラススキ、ササクサ、カタクリ、ユキザサ、チゴユリ、ワニグチソウ、クモキリソウ、トンボソウ、ヤシヤブシ、ツノハンバミ、ムカゴイラクサ、タマノカンアオイ、ワダソウ、ユリワサビ、ミヤマネコノメソウ、ヤマネコノメソウ、シモツケ、イヌザクラ、タチフウロ、カジカエデ、ツリフネソウ、ギョウジャノミズ、トモエソウ、クサレダマ、センブリ、スズサイコ、ヒキヨモギ、ミゾホウズキ、ムシクサ、シソクサ、ソバナ、キキョウ、オクモミジハグマ、タムラソウ、タカアザミ、ミヤコアザミ、ムラサキニガナ、オグルマ。

(勝山 輝男)

### 横浜南ブロックから

1981年にはいって、いよいよ植物調査のまとめをする年になったが、私自身、過去2年間西区、港南区で多少腊葉標本の作製に励んでいって、あまり進んでいるとはいえない。横浜南部ブロックの各区担当者の何人かに、調査の進行状況をたずねてみた。予想されたことだが各区の状況はまちまちで、ほとんど調査が進んでいない地区もみられる。しかし、どの区の方も何とか今年まとめるよう努力する——との答がかえってきた。いままで他のブロックのように、全体でまとまって採集会や研修会を開くということはず、各区担当の方々の自主的な調査意欲に期待してきた2年間であったが、近いうちに横浜南部ブロックの担当者の集まりをもち、もう少し連絡をとりあい、でこぼこのないよう調整をとりながら調査の推進を図りたいと思っている。今年度末にはまとまるように、みなさん

のご協力を切にお願いしたい。(村上 司郎)

### 三浦・横須賀地区の状況

横須賀地区は人数的には都合よく、メッシュごとに2名から3名を割りあて、分担しています。メッシュ分担の2・3名が、それぞれ個別に活動しているところと、互に連絡をとり、日を定めて協同調査を実施しているところなど、いろいろあるようです。

個別に活動しているところでは、調査がどの程度進んでいるのか、不安があります。最終の段階になった時点で、まだ調査ができあがっていなかったということがありはしないか。

4月以降は、毎月全員でそろって、各メッシュを順次調査を進めるように、計画したいと考えています。

三浦地区は広い範囲ですが、実情は鈴木一喜さんお一人の活動になっています。実際にご援助できる人をさがすか、兼ねてできる人を横須賀地区から配分するようになければならないと考えられます。

(石渡 治一)

### 第9回 神奈川県植物研究講座

テーマ：水生植物の分類

日時：7月4日(土) 14時から16時まで

場所：博物館講堂

講師：聖徳学園短期大学講師 大滝末男氏

募集人員：80名(定員を超過した場合は抽選)

申込方法：往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、博物館学芸部「植物研究講座」係へお申込みください。

申込期間：6月1日(月)から6月25日(木)まで

(上記期間外の申込みは受付ません)

※今から資料を準備しておいて下さい。

### 事務局からお願い

いつものことながら大変発行が遅れて申し訳ございません。事務局から幾つかお願いがあります。

○本年度神奈川県植物誌編さん事業について、博物館では350万円ほど予算要求をしました。総務部長査定までもち込まれましたが、力及ばず相変らず県費は0です。しかし、消耗品(ビニール袋、ダンボール、ナフタリン、地図)印刷費(ラベル)などできるだけ博物館の予算から支出しますので、ご希望がありましたら事務局の大場または高橋まで申し付け下さい。来年度も要求の予定です。

○したがって本年度も会費¥2000円で運営いたしたく、ご送金下さいますよう振替用紙を同封しました。

○横浜・川崎地区のチェックリストができました。配布の方法については、湘南ブロック仮目録と同様に送料実費(¥170円)で配布したく、切手同封の上事務局までお申込み下さい。

○アンケートは現在集計中です。近く新しい名簿ができますので、全調査員に配布いたします。